

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。この説明書は、必ず保管してください。

### 安全上のご注意

安全にお使いいただくための注意事項を説明しています。必ずお守りください。なお、有資格者以外の電気工事は法律で禁止されています。

	<b>警告</b>	死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
	<b>注意</b>	軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害の発生するおそれがある場合を示します。

お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

- してはいけない
- 必ず守る

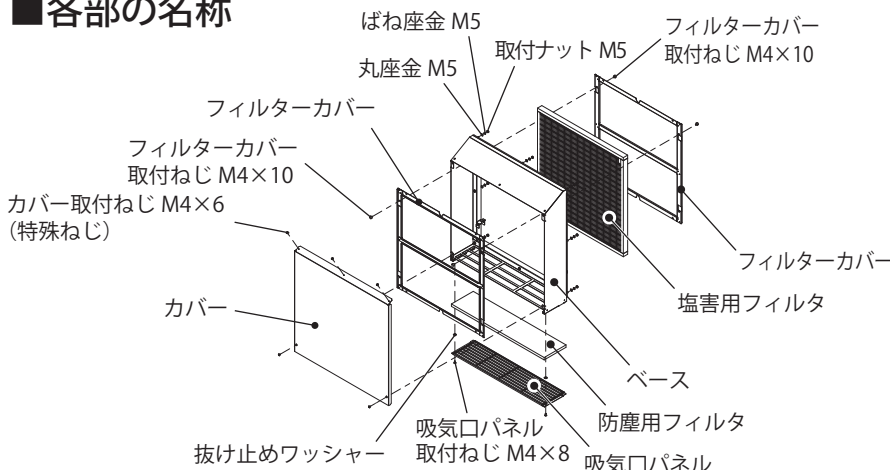
### ■施工上のご注意

注意									
	分解・改造や本体へ二次加工はしないでください。破損・けがの原因になります。								
	本製品をキャビネットに取り付ける際は、キャビネット内、外側取付面に凹凸がある製品には使用しないでください。所定の IP 性能が得られないおそれがあります。								
	積雪時に本製品が埋没しない場所、高さに取り付けてください。故障・能力低下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。								
	取付作業が難しい場合は、二人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。								
	使用するねじは、指定されたものを使用してください。取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。								
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カバー取付ねじ M4×6</td> <td rowspan="2">1.5 ~ 1.8</td> </tr> <tr> <td>吸気口パネル取付ねじ M4×8</td> </tr> <tr> <td>フィルターカバー取付ねじ M4×10</td> <td rowspan="2">1.5 ~ 2.0</td> </tr> <tr> <td>取付ナット M5</td> </tr> </tbody> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	カバー取付ねじ M4×6	1.5 ~ 1.8	吸気口パネル取付ねじ M4×8	フィルターカバー取付ねじ M4×10	1.5 ~ 2.0	取付ナット M5
ねじの呼び	適正締付トルク N・m								
カバー取付ねじ M4×6	1.5 ~ 1.8								
吸気口パネル取付ねじ M4×8									
フィルターカバー取付ねじ M4×10	1.5 ~ 2.0								
取付ナット M5									

### ■使用上のご注意

警告	
	本製品の故障が原因で人命並びに社会的に重大な影響を与えるおそれがある場所には使用しないでください。
	次のような場所では使用しないでください。火災の原因になります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・可燃性ガスのある場所</li> <li>・可燃性ガスが漏れるおそれのある場所</li> <li>・有機溶剤のかかる場所</li> </ul>
注意	
	次のような場所では使用しないでください。破損の原因となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用温度範囲外となる場所</li> <li>・常時高温となる場所</li> <li>・振動、衝撃のある場所</li> <li>・極度に塩分が多い場所</li> <li>・腐食性ガスのある場所</li> <li>・極度に塵埃やオイルミストが多い場所</li> </ul>
	本製品の上に乗ったり、物を載せたりしないでください。破損の原因になります。
	保守点検は 専門知識を有する人が定期的に行ってください。破損・落下の原因になります。
	長期間の使用で取付部の傷みやゆるみがないか、定期的に点検してください。傷みがある場合は交換し、ゆるみがある場合は適正締付トルクにて増し締めしてください。破損・落下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。

### ■各部の名称



### ●付属品

名称	数量
取付ナット M5	8コ
ばね座金 M5	8コ
丸座金 M5	8コ
ローレットねじ M4×6	2コ
L型レンチ (カバー取付ねじ用ヘキサゴビュラ穴 No.8)	1コ
メンテナンス時期通知ラベル	1枚
取扱説明書 (本紙)	1部

#### ご注意

- ・L型レンチは保守点検時のカバー取り外しに必要になります。紛失しないように保管してください。
- ・ローレットねじ M4×6 は、塩害用フィルタの保守点検を容易にする場合に使用してください。(3頁「■保守点検」を参照)

# 仕様

材質(板金)：ステンレス鋼板(SUS304)

IP性能：IP55※4

品名記号	外形寸法 mm			使用温度 ℃	使用湿度 %RH	換気面積※1 cm <sup>2</sup>	除塵率 %※2		表面処理※3	質量 kg
	ヨコ	タテ	フカサ				塩害用フィルタ	防塵用フィルタ		
SF-55EFA	543	565	160	0 ~ 60	95 以下	400	約 90	約 80	粉体塗装 (フィルタカバーのみ電着塗装)	7.1

※1. 換気面積はフィルターを考慮していません。

※2. 塩害用フィルタの除塵率は JIS B 9908 形式 2 (比色法)、防塵用フィルタの除塵率は JIS B 9908 形式 3 (質量法) によります。

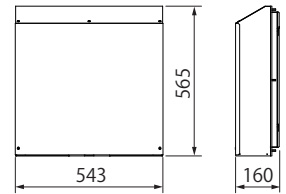
※3. 色彩はライトベージュ色(マンセル値：5Y7/1)です。

ただし、フィルタカバーはパールホワイト色(マンセル値：10YR8.5/0.5)となります。

※4. IP性能は IEC 規格 60529 に基づく試験による性能です。上記 IP 性能以上のキャビネットに取り付けた場合のキャビネットの IP 性能を示します。当社判定基準による評価結果です。

【外形寸法図】

(単位：mm)



# 取付

## 注意



取付作業が難しい場合は、二人以上で作業を行ってください。けがの原因になります。

・保守点検の容易な位置に取り付けてください。

**ご注意**

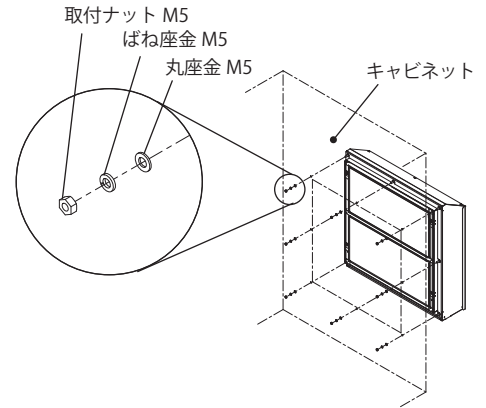
- ・高所での取付、保守点検時には、下に人がいないことを確認してください。製品や部品を落下させた場合、けがをされるおそれがあります。
- ・周囲に充電部がある環境での取付、保守点検時には、充電部の保護を行ってください。製品や部品を落下させた場合、短絡するおそれがあります。
- ・屋内、屋外で使用するキャビネットの側面に取り付けてください。

**ご注意**

- ・キャビネットの天井面やキャビネット内に取り付けしないでください。
- ・吸気口の通風を妨げたり、塞がないよう吸気口から障害物までの距離を 200mm 以上離すことをおすすめします。
- ・取付可能板厚のキャビネットに取り付けてください。取付可能板厚は 1.5 ~ 3.2mm です。

**ご注意**

キャビネット取付面の反り、パッキンの劣化などにより所定の IP 性能が得られないおそれがあります。その場合には、キャビネット取付面を補強するか、市販のシーリング材を塗布することをおすすめします。  
(推奨シーリング材：セメダイン株式会社製シリコンシーラント 8060 プロ相当品)



# 取付方法

1. キャビネットに抜き穴加工してください。(【取付寸法図】を参照)

**ご注意**

- ・必ず指定寸法で加工してください。所定の IP 性能が得られないおそれがあります。
- ・取付面にバリが生じた場合は、必ずバリ取りを行ってください。所定の IP 性能が得られないおそれがあります。
- ・抜き穴加工した取付面は、必ずタッチアップペイント(弊社型番:BP81)などで補正を行ってください。錆が発生するおそれがあります。

2. 付属の取付ナット M5、ばね座金 M5、丸座金 M5 にて、キャビネットへ確実に固定してください。

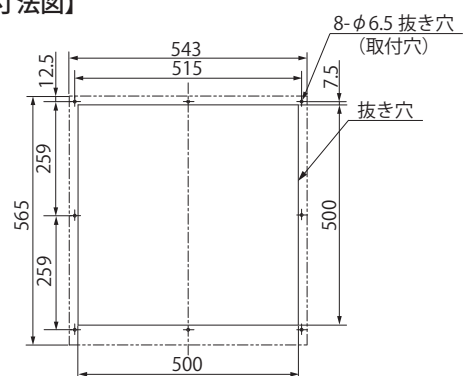
3. 付属の「メンテナンス時期通知ラベル」をキャビネット内側の本製品近傍に貼り付け、設置時期を記入してください。

フィルタ交換時期(年1回推奨)			
年	月	設置	年
年	月	交換	年
年	月	交換	年
年	月	交換	年
年	月	交換	年

メンテナンス時期通知ラベル

【取付寸法図】

(単位：mm)



**ご注意**

- ・二点鎖線は本製品外形を示します。
- ・角穴のみで本製品を取り付ける場合は、専用の取付金具、穴加工が必要となります。別途ご用意ください。

## 注意



取付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下、所定の IP 性能が得られないおそれがあります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
取付ナット M5	1.5 ~ 2.0

## ■保守点検

フィルタは定期的に交換または清掃を行ってください。(塩害用フィルタは清掃することができません。) 1か月に1度以上清掃し、1年間使用したものは交換することをおすすめします。(交換の周期は使用環境により異なります。) なお、交換用フィルタは、オプション部品より別途ご用意ください。(4頁「■オプション」を参照)

### ●フィルタの交換方法

#### ○塩害用フィルタ

##### 【キャビネット外側から交換する場合】

1. 付属のL型レンチにて、カバー取付ねじM4×6(特殊ねじ)(5か所)を取り外し、カバーを取り外してください。(図1)

**【ご注意】** カバー取付ねじM4×6を取り外す際、ねじが固く取り外しにくい場合は、潤滑剤などを使用してください。

2. フィルタカバー取付ねじM4×10(2か所)を取り外してください。  
3. フィルタカバーを上をスライドさせ、手前側に引き出してください。  
4. 塩害用フィルタを取り外してください。

5. 交換用の塩害用フィルタ左右の端面を塩害用フィルタ固定部(4か所)に差し込み、取り付けてください。

**【ご注意】**

- ・塩害用フィルタを取り付ける際は、周囲のパッキンを塩害用フィルタ固定部に引っ掛けしないでください。破損の原因になります。
- ・塩害用フィルタは、キャビネット外側から「盤外側」表示ラベルが左上上部に見えるように取り付けてください。十分な塩分捕集効果が得られません。(図2)
- ・塩害用フィルタは、周囲のパッキンと取付面との間に隙間がないように取り付けてください。十分な塩分捕集効果が得られません。

6. 1～3と逆の手順でフィルタカバー、フィルタカバー取付ねじM4×10、カバー、カバー取付ねじM4×6を取り付けてください。

必要により、付属のローレットねじM4×6をフィルタカバー取付ねじM4×10と取り替えることにより、工具を使用せずに保守点検が行えます。

**【ご注意】** ローレットねじM4×6を使用する際は、ゆるみがないか定期的に点検をしてください。

7. 「メンテナンス時期通知ラベル」に交換時期を記入してください。

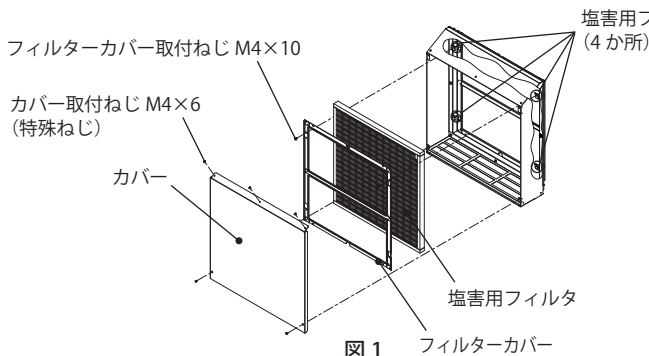


図1 フィルタカバー

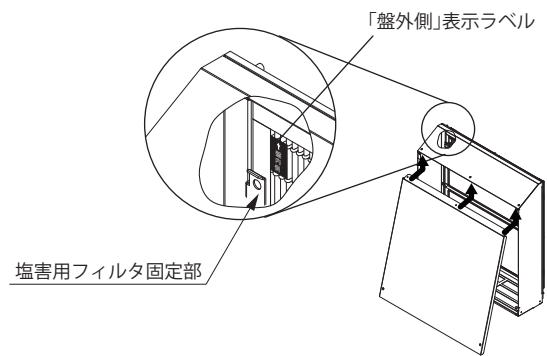


図2

##### 【キャビネット内側から交換する場合】

1. フィルタカバー取付ねじM4×10(2か所)を取り外してください。(図3)

2. フィルタカバーを上をスライドさせ、手前側に引き出してください。

3. 塩害用フィルタを取り外してください。

4. 交換用の塩害用フィルタ左右の端面を塩害用フィルタ固定部(4か所)に差し込み、取り付けてください。

**【ご注意】**

- ・塩害用フィルタを取り付ける際は、周囲のパッキンを塩害用フィルタ固定部に引っ掛けしないでください。破損の原因になります。
- ・塩害用フィルタは、キャビネット内側から「盤内側」表示ラベルが右上上部に見えるように取り付けてください。十分な塩分捕集効果が得られません。(図4)
- ・塩害用フィルタは、周囲のパッキンと取付面との間に隙間がないように取り付けてください。十分な塩分捕集効果が得られません。

5. 1～2と逆の手順でフィルタカバー、フィルタカバー取付ねじM4×10を取り付けてください。

必要により、付属のローレットねじM4×6をフィルタカバー取付ねじM4×10と取り替えることにより、工具を使用せずに保守点検が行えます。

**【ご注意】** ローレットねじM4×6を使用する際は、ゆるみがないか定期的に点検をしてください。

6. 「メンテナンス時期通知ラベル」に交換時期を記入してください。

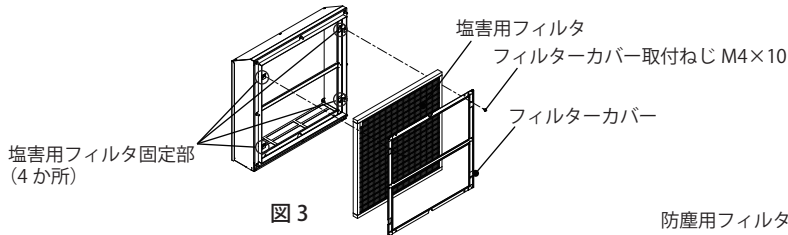


図3

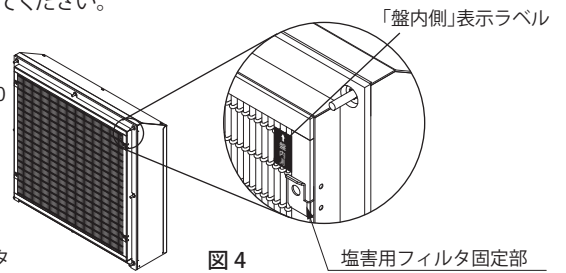


図4

#### ○防塵用フィルタ

1. 吸気口パネル取付ねじM4×8(2か所)をゆるめ、吸気口パネルを取り外してください。(図5)

2. 防塵用フィルタを取り外してください。

3. 交換用の防塵用フィルタを防塵用フィルタ固定部(2か所)に差し込み取り付けしてください。

4. 1～2と逆の手順で、吸気口パネル、吸気口パネル取付ねじM4×8を取り付けてください。

**【ご注意】** 引掛部を固定部に引っ掛けてから、吸気口パネル取付ねじM4×8を取り付けてください。

5. 「メンテナンス時期通知ラベル」に交換時期を記入してください。

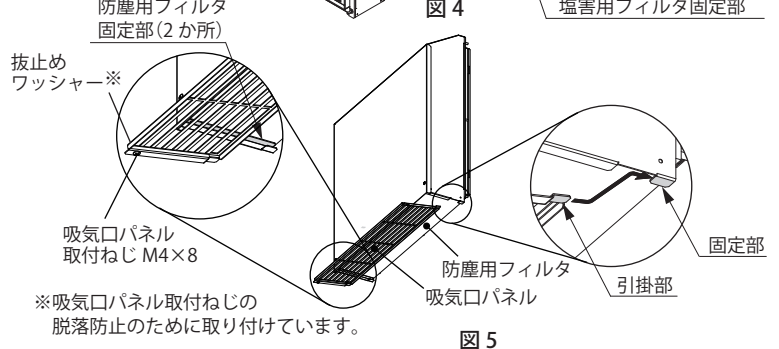


図5

## ⚠ 注意



取り付けの際は、適正締付トルクにて締め付けてください。締め付けが不十分な場合、破損・落下、所定のIP性能が得られないおそれがあります。また、締め付け過ぎの場合は、製品を破損するおそれがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク N・m
カバー取付ねじM4×6	1.5～1.8
吸気口パネル取付ねじM4×8	
フィルタカバー取付ねじM4×10	

## ●防塵用フィルタの清掃方法

以下のいずれかの方法にてフィルタ清掃を行ってください。

- ・圧縮空気による吹き付け。
- ・掃除機による清掃。
- ・水槽内での押し洗い。
  1. 中性洗剤 5%、湯 95% (湯は約 40°C) の溶液を準備してください。
  2. フィルターを溶液の中に 24 時間浸漬してください。
  3. 溶液の中で、手で押しながらかいてください。
  4. 溶液からフィルターを取り出し、清水ですすいでください。
  5. フィルターを自然乾燥させてください。

【ご注意】 塩害用フィルタは清掃することができません。

## ■オプション

### 【交換用フィルタ】

品名記号	外形寸法 mm			除塵率 % <sup>※1</sup>	圧力損失 Pa <sup>※2</sup>		質量 g	セット内容	交換目安 <sup>※3</sup>	摘要
	ヨコ	タテ	フカサ		初期圧損	最終圧損				
SF-EF55	510	500	25	約 90	50	200	750	1 コ	約 1 年	塩害用フィルタ
SF-F55	540	128	14	約 80	30	200	10	1 コ		防塵用フィルタ

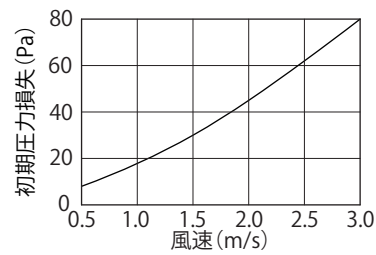
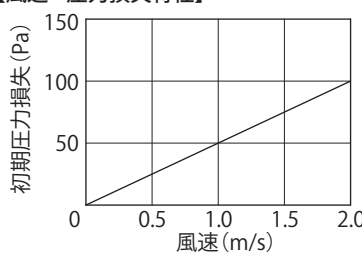
※1. 塩害用フィルタの除塵率は JIS B 9908 形式 2 (比色法)、防塵用フィルタの除塵率は JIS B 9908 形式 3 (質量法) によります。

※2. 塩害用フィルタの圧力損失は、ろ過風速 1.0m/s、防塵用フィルタの圧力損失は、ろ過風速 1.5m/s 時の値になります。

※3. フィルタ交換の周期は使用環境により異なります。

・ステンレスフード (SF-55EFA) 専用の交換用フィルタです。他の製品には使用しないでください。

【風速 - 圧力損失特性】



IP 性能: IP45<sup>※</sup>

## ■組み合わせ推奨品

### 【ステンレスフード付ターボファン】

ステンレスフードの排気用としてご利用ください。

品名記号	定格電圧 単相 V	外形寸法 mm			定格周波数 Hz	最大風量 m <sup>3</sup> /min	最大静圧 Pa	騒音 dB (A)	必要吸気面積 cm <sup>2</sup>	製品質量 kg
		ヨコ	タテ	フカサ						
SFT-30LA	AC100	303	425	142	50/60	5.2/4.5	135/185	約46/43	222	6.1
SFT-30L-2	AC200					5.5/5.9	130/166	約48/49		5.5

※オプションのフィルタ (SFT-F30) をキャビネット側面に取り付けた場合は IP55 (ファン停止時) となります。

### 【換気扇付ステンレス製ルーバー】

ステンレスフードの排気用としてご利用ください。

品名記号	定格電圧 単相 V	外形寸法 mm			定格周波数 Hz	最大風量 m <sup>3</sup> /min	最大静圧 Pa	騒音 dB (A)	必要吸気面積 cm <sup>2</sup>	製品質量 kg	取付換気扇
		ヨコ	タテ	フカサ							
SLS-4424KR	AC100	440	240	38	50/60	3.35/3.93	99/122	約 55/58	274	3.8	PF-155H-M (2 コ)
SLS-4424K-2R	AC200										PF-155H-2M (2 コ)

IP 性能: IP45

### 【塩害用フィルタケース】

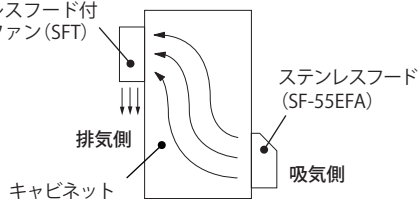
換気扇付ステンレス製ルーバーに塩害用フィルタを取り付ける際にご利用ください。

品名記号	外形寸法 mm			除塵率 %	製品質量 kg	適用ルーバー	取付可能ファン
	ヨコ	タテ	フカサ				
EFC-4424	395	176.5	43	約 90	1.2	SLS-4424F (S) R	PF-155H-(2) M (2 コ) PF-155HL-(2) M (2 コ)

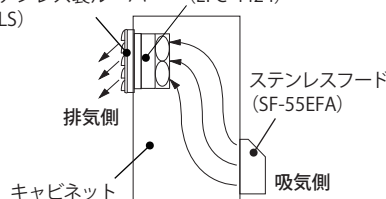
## ●組み合わせ使用例

上記製品と本製品を組み合わせ使用してください。

ステンレスフード付ターボファン (SFT)

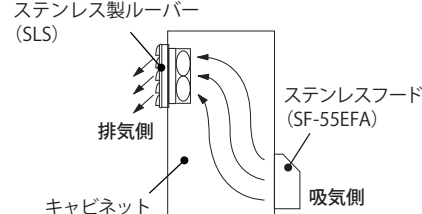


換気扇付ステンレス製ルーバー (SLS)



間欠運転する場合

換気扇付



連続運転する場合

・ファンは連続運転を推奨します。

ステンレスフード付ターボファン使用時

換気扇付ステンレスルーバー使用時

【ご注意】

排気側に塩害用フィルタが取り付けしていない場合は、ファンが寿命などで停止の際に、排気側から外気 (塩分) が入りやすくなりますので、定期的な点検をしてください。

## お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

TEL (0561) 64-0152

本製品の故障や瑕疵により、当社の予見の有無を問わず生じた二次損害について、当社は一切の責任を負いかねます。

2023年8月  
B839500925

NITTO KOGYO

©NITTO KOGYO CORPORATION

日東工業株式会社  
〒480-1189 愛知県長久手市蟹原 2201 番地